|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ６年 | ボール運動　ベースボール型　ソフトボール（７時間） | 運動場 |
| 単元目標 | 知識及び技能 | ボールを打つ攻撃と隊形をとった守備によって、ソフトボールをすることができるようにする。 |
| 思考力、判断力、表現力等 | ルールを工夫したり、自己やチームの特徴に応じて、どこに攻撃したらよいか、どんな守備隊形をとったらよいか考え自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 |
| 学びに向かう力、人間性等 | 運動に積極的に取り組み、ルールを守り助け合って運動をしたり、勝敗を受け入れたりすることができるようにする。仲間の考えや取り組みを認めたり、場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。 |
|  | 時間 | １ | ２ | ３ | ４ | ５ | ６ | ７ |
| 学習の流れ | ０５２０４５ |  | １．整列・あいさつ　　　２．準備運動　　　３．めあての確認 |
| 【めあて】単元の目標と学習の流れを確認しよう。 | 【めあて】ボールの打ち方を考えてみよう。 | 【めあて】ボールの捕り方・投げ方を考えてみよう。 | 【めあて】ルールを工夫してソフトボールをしてみよう。 | 【めあて】作戦を選んだり、考えたりしてみよう。 | 【めあて】クラス対抗ソフトボール大会をしよう | 【めあて】クラス対抗ソフトボール大会をしよう。 |
| **４ オリエンテーション**・学習の進め方・１時間の流れ・場づくり・規則・チーム分け**５　基礎感覚運動**・色々なパス（ペア）・ホース振り・ホームランゲーム・トスバッティング**６　ソフトボールをやってみよう。**攻め、守りの基本を確認しながら、やってみよう。・道具の片付け方を　確認する。 | ★基礎感覚運動…・いろいろパス（ペア）バンダナボール、だるまボール　・ホース振り　・ホームランゲーム　・トスバッティング**４．活動①**「フェアグラウンド内に打つ」ために、どのように打つのかを意識して行うことができるようにする。・オノマトペやコツ、ポイント**６．活動②**打ち方のポイントやコツ、オノマトペを押さえることができるようにする。・立ち位置・ボールを見る・バットの握り方・水平に振るなど | **４．活動①**「ボールを捕ったり投げたりためにはどうすればいいか」を意識して行うことができるようにする。**６．活動②**　捕り方のコツやポイントを押さえ、その捕り方を意識して試合を楽しみことができるようにする。・ボールが飛んでくるところへ移動・正面で捕る・ふんわりビュン・下手投げ・オーバーハンド | **４．活動①**みんなが楽しく参加できるルールを考えながら試合をすることができるようにする。**６．活動②**　ボールを持たない動きにもチャンスがあることを理解させ、皆がより良く楽しめるためのルールを考えることができるようにする。・プレイヤーの人数・コートの広さ・プレイの制限・得点の仕方 | **４．活動①**　用意した作戦の中から作戦を選んだり、チームでs苦戦を考えたりしてゲームに取り組むことができるようにする。**６．活動②**　作戦がうまく機能しているチームを取り上げるなどして、友達の良い動きに注目しながらゲームを進めることができるようにする。また、作戦が昨日したときの喜びや一体感を感じることができるようにする。 | **４．活動①**　今までの学びを活用して、色々なチームと競い合いソフトボールの楽しさや喜びを味わうことができるようにする。**６．活動②**　今までの学びを活用して、色々なチームと競い合いソフトボールの楽しさや喜びを味わうことができるようにする。 | **４．活動①**　今までの学びを活用して、色々なチームと競い合いソフトボールの楽しさや喜びを味わうことができるようにする。５　きらりタイム・・・友だちやチームの動き等から、うまくできるコツや友だちの良い点等を全体で確認する。**６．活動②**　今までの学びを活用して、色々なチームと競い合いソフトボールの楽しさや喜びを味わうことができるようにする。【大会の持ち方】・総当たりのリーグ戦・トーナメント戦など※試合数の確保 |
| ☆ふり返り（できるようになったこと、むずかしかったこと、楽しかったこと、友だちの良い所、次がんばりたいこと等。必要に応じて**実技と結びつけて発表させる**） |
| 評価規準 | 知・技 |  | 〇 |  | ○ |  | ○ | ○ |
| 思判表 |  |  | ○ |  | ○ |  |  |
| 主体的 | 〇 |  |  | ○ |  |  | ○ |

作成：体育科指導CO金城　光文書院「体育の学習（６年）」p38〜43参照